

●全国学力学習状況調査(小6)

課題の見られた問題の概要	結果
示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を述べる。	39.4%
示された情報を基に条件に合う時間を求めることができる。	46.0%
示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる。	46.7%
コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ。	55.5%

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(小5)

課題の見られた問題の概要	結果
走った時間と歩いた時間、かかった時間について関連付けながら表にまとめ、それらの関係について読み取る。	16.10%
走った時間と歩いた時間、かかった時間の関係について読み取ったことをもとに問題を解決する。	19.50%
3人のシールの枚数の関係を口を使った式でまとめる。	50.00%
3人のシールの枚数の関係について、読み取ったことから枚数を求める。	51.70%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・5年生…四則計算の技能、数量についての知識・理解はほぼできている。基準量、比較量、割合を求める正解率は高い。図形の特徴についてもよく理解している。 ・6年生…四則計算の技能、図形や数量についての知識・理解はほぼできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量関係を比較・関連付けながら表にまとめ、読み取る力、意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力を育てるため、数量関係を、式、図、表、グラフなどを用いたり、言葉で表現したりできるようにする。

●調査結果を踏まえて学校全体で取り組む内容

・数量や図形について、数量の変化や規則性に着目し、特に伴って変わる二つの数量の関係を考察し、特徴や傾向を表したり読み取ったりできるようにする。数量関係などを分かりやすく表現したり理解したりするため、式を言葉や図と関連付けて用いることができるようにする。

●調査結果を踏まえた学年ごとの課題及び改善策

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	・文章を読み取り、算数的な思考を用いることが苦手な児童がいる。	・多くの例題を解き、文章を読み取る力を付ける。文章の特徴注目させるなど、ポイントを押さえた授業を行う。
2年生	・文章題を図に表現することが苦手である。	・文章題を解く時、図を使って表現していく。自分の考えを発表する場面を設定し、共有化していく。
3年生	・文章題の内容が分かり、それらを図や数直線に表し、正しく立式することが苦手な児童がいる。	・多くの文章題に取り組ませ、テープ図や数直線に表す活動を積極的に取り入れる。また、自分の考えを皆の前で説明する場面も作っていく。
4年生	・文章から数量の関係を読み取り、表や図に表すことが苦手である。	・文章題を解く時、自分で図を描き、数量や単位など、その関係を表す学習を積み重ねる。ペアや小グループなど、自分の考えを発表する場面を多く設定する。
5年生	・思考力を要する問題や示された情報を整理して解決を図る問題に個人差がある。	・問題文の題意把握を確実にできるようにし、言葉、図、表、グラフなどと関連付けて自分の考えを表現したり、説明したりできるようにする。
6年生	・思考力を要する問題や示された情報を整理して解決を図る問題に個人差がある。	・問題文の題意把握を確実にできるようにし、言葉、図、表、グラフなどと関連付けて自分の考えを表現したり、説明したりできるようにする。

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習で取り組んでいるページドリルで、計算力をはじめ、基礎的・基本的な力がついている。 ・自力解決の時間を十分にとることで、自ら解決しようとする児童が増えている。学習スタンダードを基にノートの取り方や発言の仕方が身についている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の正確な作図や、測定の技能を習熟させる。 ・数学的な考え方を活用する力を向上させることが課題である。

・学校全体で取り組む内容

<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の仕方は、前学年までの学習が基になっていることを確認し、既習事項を用いて考えていこうように学習を進める態度を育てる。 ・低学年から、問題場面を図などに表して考える態度を育てる。 ・計算単元の導入時には、立式の意味を考える時間を大切に、「なぜ、その式になったか」を説明する場を設定し、慣れさせていく。
--

●本校の実態を踏まえた学年ごとの課題及び改善策

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み取り、算数的な思考を用いることが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章題を解く時に、図を書きながら解くなど、視覚化する作業を多く設定する。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の作図や、測定がきちんとできない児童がいる。 ・文章題を図に表現することが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の正確な作図や、測定の技能を習熟を図る。 ・文章題を解く時、図を使って表現していく。自分の考えを発表する場面を設定し、共有化していく。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・計算に興味を持って取り組んでいる。 ・九九の定着が不十分な児童がいる。 ・文章題を図に表現することが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章題を解く時、図を使って表現していく。図を使って自分の考えを発表する場面も取り入れていく。 ・朝学習や家庭学習を用いて、九九の定着を確実にする。
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・正確に図形の作図や測定ができない児童がいる。 ・文章題を図に表現したり説明したりすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正確に作図や測定をするための方法を確認したり、コツを見つけて伝え合ったりするなど、技能の習熟を図る。 ・ペアや小グループなど、自分の考えを発表する場面を多く設定する。
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に進んで取り組む児童が多い。 ・計算での不注意なミスや文章題の答えでの単位間違いや書き忘れが少なくない。また、四則計算が定着していない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や図、表などをより分かりやすく表現するように指導する。よりよい解決方法を見つけるようにする。 ・途中の計算や筆算を残し、見直しをするように指導する。 ・思考力を高めるため、共通のノート指導を行う。
6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に進んで取り組む児童が多い。 ・計算での不注意なミスや文章題の答えでの単位間違いや書き忘れが少なくない。また、四則計算が定着していない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や図、表などをより分かりやすく表現するように指導する。よりよい解決方法を見つけるようにする。 ・途中の計算や筆算を残し、見直しをするように指導する。 ・思考力を高めるため、共通のノート指導を行う。